

たかくま

元気いっぱい笑顔いっぱい地域の宝
高限小学校 学校便り No 2

令和5年5月20日発行

構成的グループエンカウンター

集団学習体験を通して、自己発見による行動の変容と、自己成長を目的としながら、親密な人間関係づくりを目指して活動しています。



地震から身を守る

水本 賢一

1923年9月1日午前11時58分、震度7の関東大震災が発生しました。死者・行方不明者は10万5千人余（理科年表より）にのぼりました。今年に関東大震災からちょうど100年となります。気象庁のホームページでは、「関東大震災から100年」特設サイトが開設され、過去の大災害から学んだことが紹介されています。

5月5日石川県震度6強、5月11日千葉県震度5強、5月12日愛媛県で震度3、5月13日鹿児島県十島村震度5弱等、最近日本各地で強い揺れの地震が発生しています。地震の際の避難の仕方について、学校でも指導しました。校内にいるときに地震が起きた場合、緊急放送をよく聞き、担任の指示に従い、校庭中央に避難すること、登下校中に地震が発生した場合、電信柱やブロック塀など倒れやすいものから離れることです。「自分の身は自分で守る」が基本です。避難訓練で学んだことを生かし、危険予知能力を働かせて、安全を確保できるようにしてほしいと思います。家庭でも、地震が起きたときの避難の仕方を確認する機会が持てるといいですね。

交通安全教室 ～命を守る学習①～



「ぶたはしゃべるか」は自転車点検の合言葉です。4月に交通安全教室が開かれました。点検方法以外にも、1年生は横断歩道の渡り方、3年生以上は自転車の安全走行と技能向上について学びました。児童が無事故で生活を送るため、今後も地域の皆様の御指導・御鞭撻を賜りたいと存じます。



夏に向け

ライオンズクラブの方々のご厚意により、ゴーヤの苗をいただきました。緑のカーテンとして、学校を涼しく彩ってくれることでしょう。

子どもたちには、校訓の通り、暑い夏を「つよく・かしこく・心豊かに」過ごしてほしいものです。



不審者対応避難訓練 ～命を守る学習②～

「いかのおすし」これは不審者に対する合言葉です。「いか」ない、「の」らない、「お」お声で叫ぶ、「す」ぐ逃げる、「し」らせる。もしもの時はないほうがよいですが、もしもの時に何の対応策もなければ、命が危険にさらされます。

この日は不審者侵入に対する対応訓練、子ども110番への駆け込み訓練を行いました。安心して安全な暮らしの中で、健やかな成長を臨みたいですね。



〇〇は心の扉を開く ～読書のすすめ～

高限小学校の図書室に掲げてある言葉は「感動は心の扉を開く」です。本との出会いにより、心が豊かになったり、幅広い見識をもてたり、より深く考えて判断する力が身に付いたりします。多種多様な本と出会ってほしいものです。

異学年交流による学び！！

委員会活動やクラブ活動、給食時間に清掃時間、学校で学ぶことは数多くあります。高限小学校では同じ学年以外の友だちともグループ活動を行い、生きる力を育てています。



気づき・考え・実行する

赤十字の登録式を行いました。困っている人や苦しんでいる人を見かけたら、何か手助けできる人間であってほしいです。



【主な6月行事】

- 8日・・・市教育委員会学校訪問
耳鼻科検診
- 10日・・・土曜授業《田植え》
- 15日・・・授業参観
救命救急講習
- 20日・・・児童総会



